

制作概要

継続しているテーマである「光のメタファー（隠喩）」とは、光が人間の認識を超えて何らかのメッセージを伝えようとしている、その中に人は存在しているのではないかと希望させる言葉です。光はその様な力があると感じさせる存在なのでしょう。

そのメッセージは、様々な光の在り方の中で、具体的な在り方（時間、場所、気象）や、象徴的な在り方（歴史、文化、社会）の中で始めて内容を現わすもので、多くの機会に実証されねばなりません。

今回の発表はスウェーデンのオストラヨーイング市において開催される文化事業で、日本とスウェーデンの国際文化交流が目的です。

今回で3回目の事業となる「光りプロジェクトⅢ」“Light ProjectⅢ in Ostra Goinge” にプランを提出、承認され招待が決定しました。テーマを「Light Pendulum（光 振子）」とし、文化会館とその周辺の屋外空間を展示スペースと決めました。

この文化事業では、本学の美術・デザイン学科主催で継続し行なわれてきた「冬至祭・光のメタファー展」が先駆してきた活動経緯から、又、その主旨内容から本学の学生参加、当地でのワークショップがふさわしいと判断し主催者に提案して了承され、同時に本学での活動を市民講演で紹介することとしました。

研究作品が文化交流メディアとして機能するとき鑑賞者の参加や関わりが作品内容を構築するのに不可欠の要素と考えています。

関係者の熱意が豊かなワークショップや講演の中で実現され相互に理解が深まり友好の輪が広がったと思われま

北野正治

「Light Pendulum（光 振子）」

展覧会：Light Project Ⅲ

会場：Kulturhuset Vitaskolan, Broby

主催：Ostra Goinge Kommun

Invitation for exchange Japan-Sweden
スウェーデン日本大使館後援



文化会館正面展示 共同制作 野外展示は「光 振子」「雪の花」『コロコロ キューブ』で構成

写真は新聞社から提供された



曾谷秋美「カゲとボク」



富谷有希「花車」



服部葵「レース・紅茶の夢」



前田季実子「卵の殻」

学生作品展示
図書館、音楽室、演劇室
階段、倉庫と環境に合わせ
展示。
短時間の制作時間の合間
をぬってフィールドワー
クをおこなった。



中野米希子「鳥」
「絵本 渡せなかったプレゼント」



武本歩美「潜水」



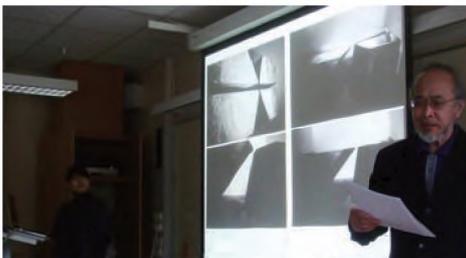
アムステルダムで休日



ワークショップは二回、小学生対象『コロコロ キューブ』、専門学校生徒を対象「冬の花」が行なわれた。



スウェーデン・日本の国際文化交流として展覧会、講演、ワークショップが行なわれた、参加者の表情に創造の喜びを感じることができる。



「冬至祭・光のメタファー展」の紹介を中心にした講演を学生対象と市民対象に行なった。

厳しい環境の中で豊かな文化を育てている。

Göinge

allt om

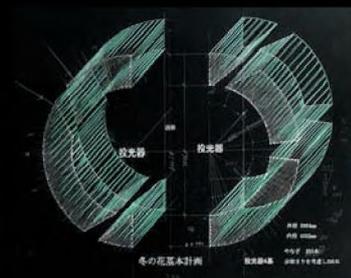
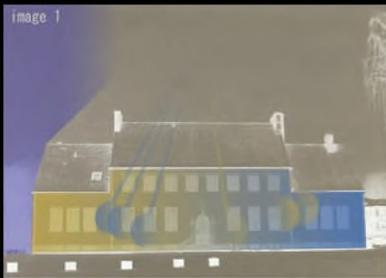
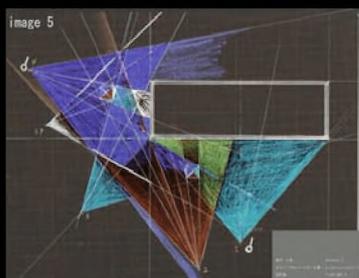


Vita skolan – en riktig färglick. Foto: Mikael Persson (MIP)

文化会館正面「Light Pendulum (光 振り子)」展覧会 : Light Project III 会場 : Kulturhuset Vitaskolan, Broby 主催 : Ostra Goinge Kommun



妻側の振り影とスライド映像 (羊歯) の連続写真



「Light Pendulum (光 振り子)」の構想図

「冬の花」計画